

### Ⅲ 国語科学習評価シートの活用方法

#### 1. 国語科学習評価シートの実施方法

国語科学習評価シートは、特別支援学級の担当教員が、自閉症のある児童生徒に対し、その年度における国語科学習の習得状況を把握することにより、次年度の国語科指導における指導内容等の編成に役立てることを想定して作成している。

図1でその手順を解説する。

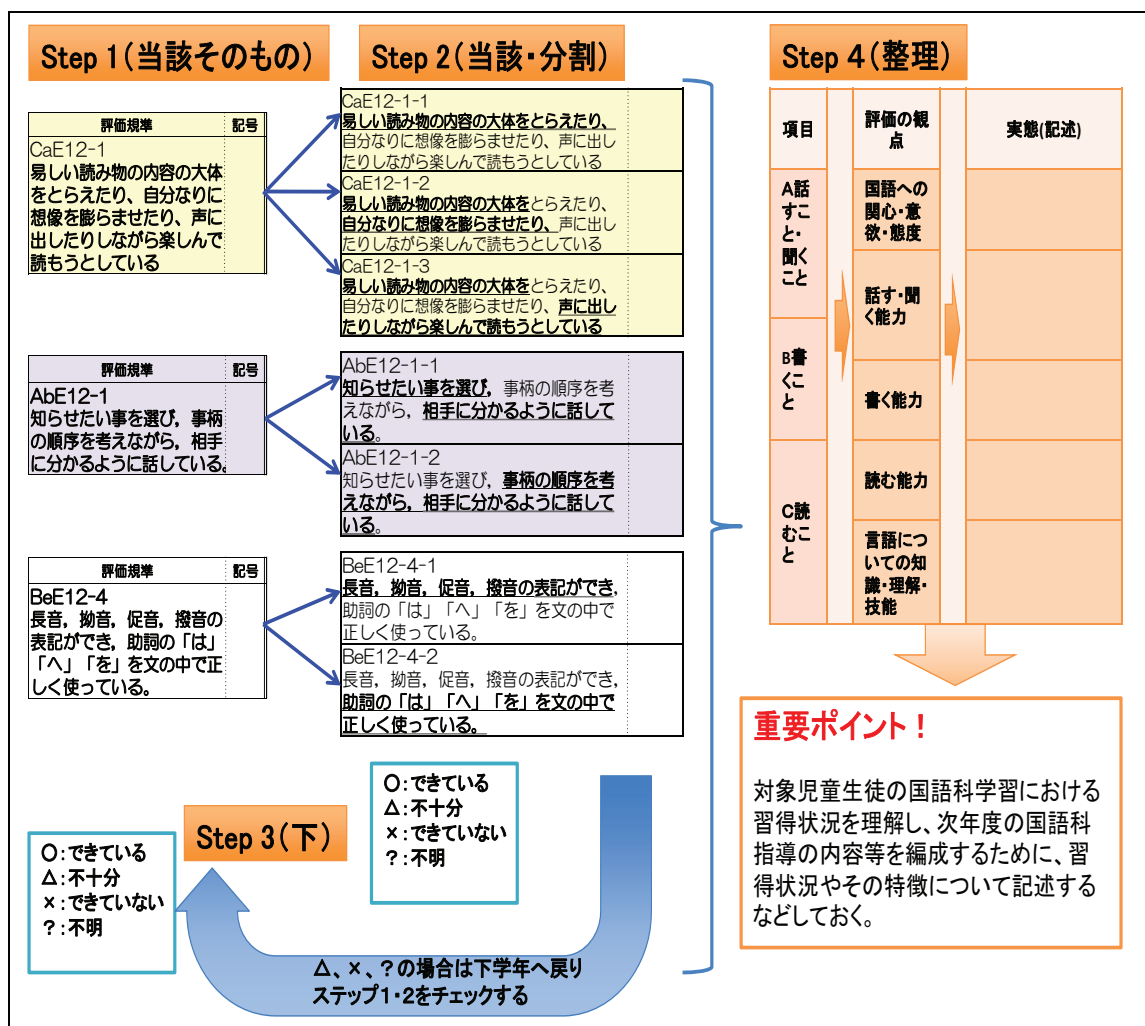


図1 国語科学習評価シートの実施手順

#### (1) ステップ1の実施 (「当該学年の評価規準」に照らした評価のチェック)

ステップ1は、国立教育政策研究所が作成した評価規準そのものの活用である。例えば、対象児童生徒が小学校4年生であるなら、当該学年の第3学年・第4学年の評価規準に照らした習得状況をみていく。最初のチェックは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読

むこと」の内容のまとまりに関する関心・意欲・態度の観点別評価項目であり、次いで能力に関する項目、最後に言語についての知識・理解・技能の項目について、「○、△、×、？」の記号でチェックをする。担任から見てできていると思われるものは「○」、不十分だと思うものは「△」、できていないと思われるものは「×」、不明なものは「？」で記述する。

この段階で全ての評価規準に「○」がついた場合は、当該学年の国語科の学習内容が全て習得されていると理解する。

### **(2) ステップ2の実施（「当該学年の評価規準を細分化した内容」のチェック）**

ステップ2は、ステップ1の評価規準を細分化したものの活用である。ステップ1は評価要素が複数あるので、例えば「△」と評価したものであっても、評価要素を丁寧にみていくと、「○」と「×」あるいは「△」も混在する結果となりえる。そこで、評価規準の内容を細分化したもので再チェックし、どの部分で習得あるいは未習得なのかを把握する。この段階でも、「○、△、×、？」の記号でチェックする。

### **(3) ステップ3の実施（「下学年の評価規準」に照らした評価のチェック）**

ステップ3は、当該学年での学習の習得状況にばらつきがあり、ステップ1で「×」と評価したものについては、下学年の評価規準に照らして習得状況进行评估する。このステップでも、「○、△、×、？」の記号でチェックをする。

### **(4) ステップ4の実施（学習の習得状況を整理する）**

ステップ4では、対象児童生徒の国語科学習の習得状況について、ステップ1～ステップ3までの評価結果から読み取れることを整理する。

このように、習得状況を確認するプロセスを通して、自閉症のある児童生徒の国語科学習における実態を理解するとともに、次年度の学習内容等の編成の際に、国語科の指導時間数や指導内容の設定、あるいは指導内容の重点化などについて適切に行うようにする。

## **2. 国語科学習評価シートの結果例**

本稿では、協力校の高機能自閉症のある児童の国語科学習評価シートの結果を取り上げて解説する。対象児童は現在小学校4年の男児であり、高機能自閉症との診断がある。図2の国語科学習評価シートの結果は、昨年度末に実施したステップ1・ステップ2である。

	小学校 第3学年及び第4学年	1	2	3	4
--	----------------	---	---	---	---

<対象児童生徒の「国語への関心・意欲・態度」について>

児童生徒の様子から、実際にはできていないくも、関心や意欲があると推測できる内容は○、ないものを×、部分的にあると推測できる場合は△、推測できない場合は？を付けてください。

A話すこと と 関心 と	a国語への関心・意欲・ 態度	AaE34-1 1 相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話そうしたり、話の中心に気を付けて聞こうとしたり、進んで話し合おうとしている。	×	AaE34-1-1 相手や目的に応じ、調べた事などについて、 <u>筋道を立てて話そうとしたり</u> 、話の中心に気を付けて聞こうとしたり、進んで話し合おうとしている。	×	AaE34-1-2 相手や目的に応じ、 <u>調べた事などについて、筋道を立てて話そうとしたり</u> 、話の中心に気を付けて聞こうとしたり、進んで話し合おうとしている。	×	AaE34-1-3 相手や目的に応じ、 <u>調べた事などについて、筋道を立てて話そうとしたり</u> 、話の中心に気を付けて聞こうとしたり、進んで話し合おうとしている。	×	AaE34-1-4 相手や目的に応じ、 <u>調べた事などについて、筋道を立てて話そうとしたり</u> 、話の中心に気を付けて聞こうとしたり、 <u>進んで話し合おうとしている</u> 。	×
-----------------------	-------------------	---	---	--	---	--	---	--	---	---	---

B書くこと	a国語への関心・意欲・ 態度	BaE34-1 1 相手や目的に応じて、事柄の選択や段落相互の関係を工夫したり、よいところを見付けたりしようとしている。	×	BaE34-1-1 相手や目的に応じて、 <u>事柄の選択や段落相互の関係を工夫したり</u> 、よいところを見付けたりしようとしている。	×	BaE34-1-2 相手や目的に応じて、事柄の選択や段落相互の関係を工夫したり、 <u>よいところを見付けたり</u> 、ようとしている。	×
-------	-------------------	--	---	--	---	--	---

C読むこと	a国語への関心・意欲・ 態度	CaE34-1 1 幅広くいろいろな読み物に興味をもち、一人一人の考えや感じの違いに気付いて読もうとしている。	×	CaE34-1-1 幅広くいろいろな読み物に興味をもち、 <u>一人一人の考えや感じの違いに気付いて読もうと</u> している。	×	CaE34-1-2 幅広くいろいろな読み物に興味をもち、 <u>一人一人の考えや感じの違いに気付いて読もうと</u> している。	×
-------	-------------------	---	---	---	---	---	---

<対象児童生徒の「話す・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」に関する「能力」について>

児童生徒の様子から、該当する内容に関しての能力が備わっていると思われる場合は○、ない場合は×、部分的にある場合は△、わからない場合は？を付けてください。

A話すこと と 関心 と	a話す・聞く能力	AhE34-1 1 伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話している。	×	AhE34-1-1 伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた <u>適切な言葉遣いで話している</u> 。	×	AhE34-1-2 伝えたい事を選び、 <u>自分の考えが分かるように筋道を立てて</u> 、相手や目的に応じた <u>適切な言葉遣いで話している</u> 。	×	AhE34-1-3 伝えたい事を選び、 <u>自分の考えが分かるように筋道を立てて</u> 、 <u>相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話している</u> 。	×
-----------------------	----------	---	---	---	---	--	---	--	---

A話すこと と 関心 と	a話す・聞く能力	AhE34-2 2 話の中心に気を付けて聞き、自分の感想をまとめている。	△	AhE34-2-1 話の中心に気を付けて <u>聞き</u> 、自分の感想をまとめている。	×	AhE34-2-2 話の中心に気を付けて聞き、 <u>自分の感想をまとめている</u> 。	○
-----------------------	----------	--	---	--	---	--	---

A話すこと と 関心 と	a話す・聞く能力	AhE34-3 3 互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合っている。	△	AhE34-3 互いの考えの相違点や共通点を <u>考えながら</u> 、進んで話し合っている。	○	AhE34-3 互いの考えの相違点や共通点を考えながら、 <u>進んで話し合っている</u> 。	×
-----------------------	----------	---	---	---	---	---	---

B書くこと	o書く能力	BcE34-1 1 相手や目的に応じて、適切に書いている。	○
-------	-------	-------------------------------------	---

B書くこと	o書く能力	BcE34-2 2 書く必要がある事柄を収集したり選択したりしている。	△	BcE34-2-1 書く必要がある事柄を <u>収集したり選択したり</u> している。	×	BcE34-2-2 書く必要がある事柄を収集したり <u>選択したり</u> している。	○
-------	-------	---	---	---	---	---	---

B書くこと	o書く能力	BcE34-3 3 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えながら書いている。	×
-------	-------	--	---

B書くこと	o書く能力	BcE34-4 4 書こうとする事の中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して書いている。	×	BcE34-4-1 書こうとする事の中心を明確にしながら、段落と段落との続き方に注意して <u>書いている</u> 。	×	BcE34-4-2 書こうとする事の中心を明確にしながら、 <u>段落と段落との続き方に注意して書いている</u> 。	×
-------	-------	--	---	--	---	--	---

B書くこと	o書く能力	BcE34-5 5 文章のよいところを見付けたり、間違いなどを正したりしている。	△	BcE34-5-1 文章の <u>よいところを見付けたり</u> 、間違いなどを正したりしている。	×	BcE34-5-2 文章の <u>よいところを見付けたり</u> 、 <u>間違いなどを正したりしている</u> 。	○
-------	-------	--	---	--	---	---	---

C読むこと	o読む能力	CaE34-1 1 いろいろな分野の読み物を、自ら選んで読んでいる。	×
-------	-------	--	---

C読むこと	o読む能力	CaE34-2 2 自分の目的に応じて、段落相互の関係を押さえ、中心となる語や文をとらえて文章の内容を正しく読んでいる。	○	CaE34-2-1 自分の目的に応じて、 <u>段落相互の関係を押さえ</u> 、中心となる語や文をとらえて文章の内容を正しく読んでいる。	×	CaE34-2-2 自分の目的に応じて、段落相互の関係を押さえ、 <u>中心となる語や文をとらえて文章の内容を正しく読んでいる</u> 。	○
-------	-------	--	---	--	---	--	---

C読むこと	o読む能力	CaE34-3 3 場面の変化や情景を表している叙述を基にして、想像しながら読んでいる。	△
-------	-------	--	---

C読むこと	o読む能力	CaE34-4 4 文章を読んでまとめた自分の感じ方や考えと、他の人との感じ方や考えとは違いがあることに気付いている。	△
-------	-------	---	---

C読むこと	o読む能力	CaE34-5 5 自分の目的や必要に応じて、大事な内容をまとめたり、必要となる細部に注意したりしながら読んでいる。	△	CaE34-5-1 自分の目的や必要に応じて、 <u>大事な内容をまとめたり</u> 、必要となる細部に注意したりしながら読んでいる。	×	CaE34-5-2 自分の目的や必要に応じて、大事な内容をまとめたり、 <u>必要となる細部に注意したりしながら読んでいる</u> 。	○
-------	-------	--	---	--	---	--	---

C読むこと	o読む能力	CaE34-6 6 相手や目的に応じ、内容の中心や場面の様子がよく分かるように声に出して読んでいる。	△
-------	-------	--	---

読書 と 聞 と	e言語 の 知識 理解 技能	AeE34-1 その場の状況に 目的に応じた適 切な音量や速さ で話している。	△	AeE34-1-1 その場の状況に 目的に応じた適 切な音量や速さ で話している。	△	AeE34-1-2 その場の状況に 目的に応じた適 切な音量や速さ で話している。	△		
読書 と 聞 と	e言語 の 知識 理解 技能	AeE34-2 話した内容を 必要情報 をまとめる。	○						
読書 と 聞 と	e言語 の 知識 理解 技能	AeE34-3 構造的な関係と 文の構成に 気づかせる。	×						
読書 と 聞 と	e言語 の 知識 理解 技能	AeE34-4 文と文の意味の つながりを考 えながら、指 示語や接続語 を使って話したり 聞いたりする。	△	AeE34-4-1 文と文の意味の つながりを考 えながら、指 示語や接続語 を使って話したり 聞いたりする。	×	AeE34-4-2 文と文の意味の つながりを考 えながら、指 示語や接続語 を使って話したり 聞いたりする。	○	AeE34-4-3 文と文の意味の つながりを考 えながら、指 示語や接続語 を使って話したり 聞いたりする。	×
読書 と 聞 と	e言語 の 知識 理解 技能	AeE34-5 相手やその場の 状況に応じて 丁寧な言葉で 話している。	×	AeE34-5-1 相手やその場の 状況に応じて 丁寧な言葉で 話している。	×	AeE34-5-2 相手やその場の 状況に応じて 丁寧な言葉で 話している。	×		
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-1 当該学年以前の 学業で書かれて いる漢字書き、 文や文章の中 で使われている 漢字を、当該年 に書いている。	○	BeE34-1-1 当該学年以前の 学業で書かれて いる漢字書き、 文や文章の中 で使われている 漢字を、当該年 に書いている。		BeE34-1-2 当該学年以前の 学業で書かれて いる漢字書き、 文や文章の中 で使われている 漢字を、当該年 に書いている。		BeE34-1-3 当該学年以前の 学業で書かれて いる漢字書き、 文や文章の中 で使われている 漢字を、当該年 に書いている。	
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-2 漢字のふりがな の構成について 知識をもつ。	○						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-3 日本文や外国文 のローマ字書 きをする。(4年)	○						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-4 送り仮名を注意 して書いている。 句読点を必要 な箇所を付けて 書いている。	△	BeE34-4-1 送り仮名を注意 して書いている。 句読点を必要 な箇所を付けて 書いている。	○	BeE34-4-2 送り仮名を注意 して書いている。 句読点を必要 な箇所を付けて 書いている。	○	BeE34-4-3 送り仮名を注意 して書いている。 句読点を必要 な箇所を付けて 書いている。	×
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-5 表紙や目次など の文字の役割 について理解 している。	○						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-6 文章全体の 構成を理解 している。	×						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-7 文と文の意味の つながりを考 えながら、指 示語や接続語 を使っている。	○	BeE34-7-1 文と文の意味の つながりを考 えながら、指 示語や接続語 を使っている。		BeE34-7-2 文と文の意味の つながりを考 えながら、指 示語や接続語 を使っている。			
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-8 文章の構成や 本意を注意 して書いている。	○						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-9 文字の並びか ら意図を読み 取る。	○						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-10 文字の並びか ら意図を読み 取る。	×						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	BeE34-11 毛筆を使用して 点画や筆使い の整った文字 を書いている。	○	BeE34-11-1 毛筆を使用して 点画や筆使い の整った文字 を書いている。		BeE34-11-2 毛筆を使用して 点画や筆使い の整った文字 を書いている。			
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	CeE34-1 当該学年で 書かれている 漢字を 読んでいる。	○						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	CeE34-2 地名や人名など のローマ字書 きをする。 (4年)	○						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	CeE34-3 語彙や構文の 特徴を理解 している。	○						
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	CeE34-4 国語辞典や漢 字辞典の使 い方を必要 に応じて用 いている。	○	CeE34-4-1 国語辞典や漢 字辞典の使 い方を必要 に応じて用 いている。	×	CeE34-4-2 国語辞典や漢 字辞典の使 い方を必要 に応じて用 いている。	×		
読書 と	e言語 の 知識 理解 技能	CeE34-5 文脈や関係語 の関係を対 手から読み 取る。	○						

図2 小学校4年男児(高機能自閉症)の国語科学習評価シートステップ1・2の結果

以下の図3は、ステップ4の習得状況を整理したものである。

図3 自閉症のある児童の国語科学習評価ステップ4のまとめ

領域		当該学年(3年・4年)の評価規準	習得	下学年(1年・2年)の評価規準	習得	児童生徒の学習の状態
A話すこと・聞くこと	a国語への関心・意欲・態度	AaE34 相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話そうしたり、話の中心に気を付けて聞こうしたり、進んで話し合おうとしている。	×	AaE12-1 相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないように聞いたりするとともに、話題からそれないように話し合おう	△	・当該学年の読む・話す領域、書く領域、読む領域全てにおいて、自分なりに工夫したり論理的に話したりといった態度や意欲がもてていないようである。また、下学年における各領域の関心・意欲・態度については、十分ではないがそのような様子が見えているようである。
B書くこと	a国語への関心・意欲・態度	BaE34-1 相手や目的に応じて、事柄の選択や段落相互の関係を工夫したり、よいところを見付けたりしようとしている	×	BaE12-1 相手や目的を考えながら、事柄を集めたり簡単な組立てを考えたりして文章を書き、読み直そうとしている。	○	
C読むこと	a国語への関心・意欲・態度	CaE34-1 幅広いいろいろな読み物に興味をもち、一人一人の考えや感じ方の違いに気付いて読もうとしている	×	CaE12-1 易しい読み物の内容の大体をとらえたり、自分なりに想像を膨らませたり、声に出したりしながら楽しんで読もうとしている	△	
A話すこと・聞くこと	b話す・聞く能力	AbE34-1 伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話している。	×	AbE12-1 知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら、相手に分かるように話している。	×	・話す聞く能力については、当該学年ならびに下学年においても、論理的に筋道をたてて話したり、状況に適した言葉遣いで話したり、また、相手の考えや中心となる事柄を聞き取る能力が十分に養われていないようである。
A話すこと・聞くこと	b話す・聞く能力	AbE34-2 話の中心に気を付けて聞き、自分の感想をまとめている	×	AbE12-2 大事な事を落とさないようにしながら、興味をもって聞いている。	×	
A話すこと・聞くこと	b話す・聞く能力	AbE34-3 互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合っている	△	AbE12-3 身近な事柄について、話題に沿って、話し合っている。	△	
B書くこと	c書く能力	BcE34-1 相手や目的に応じて、適切に書いている	○	BcE12-1 相手や目的を考えながら、書いている。	○	・下学年における書く能力は備わっているようであるが、当該学年における書く能力では、特に書く内容の中心的事柄を把握して書くことが難しいようである。
B書くこと	c書く能力	BcE34-2 書く必要のある事柄を収集したり選択したりしている	△	BcE12-2 書こうとする題材に必要な事柄を集めている	○	
B書くこと	c書く能力	BcE34-3 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係を考えながら書いている	×	BcE12-3 自分の考えが明確になるように簡単な組立てを考えている	○	
B書くこと	c書く能力	BcE34-4 書こうとする事の中心を明確にしなが、段落と段落との続き方に注意して書いている	×	BcE12-4 事柄の順序を考えながら、語と語や文と文との続き方に注意して書いている	○	
B書くこと	c書く能力	BcE34-5 文章のよいところを見付けたり、間違いなどを正したりしている。	△	BcE12-5 文章を読み返す習慣を付け、間違いなどに注意している	○	
C読むこと	d読む能力	CdE34-1 いろいろな分野の読み物を、自ら進んで読んでいる	×	CdE12-1 自ら気に入った易しい読み物を読んでいる	○	
C読むこと	d読む能力	CdE34-2 自分の目的に応じて、段落相互の関係を押さえ、中心となる語や文をとらえて文章の内容を正しく読んでいる	○	CdE12-2 時間や事柄などの順序に着目し、内容の大体を読んでいる	○	・読むことに関しての能力では、概ね下学年の力は備わっているようであるが、当該学年の力として、相手や状況に応じて目的的に読む力や、想像して読む力が十分に育っていないようである。
C読むこと	d読む能力	CdE34-3 場面の変化や情景を表している叙述を基にして、想像しながら読んでいる	△	CdE12-3 場面や事柄のまとまりなどについて、叙述に即して自分なりに想像を広げながら読んでいる	△	
C読むこと	d読む能力	CdE34-4 文章を読んでまとめた自分の感じ方や考えと、他の人との感じ方や考えとは違いがあることに気付いている	△	CdE12-4 声に出して読んで、語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて感じたり考えたりしている。	○	
C読むこと	d読む能力	CdE34-5 自分の目的や必要に応じて、大事な内容をまとめたり、必要となる細部に注意したりしながら読んでいる。	△			
C読むこと	d読む能力	CdE34-6 相手や目的に応じ、内容の中心や場面の様子がよく分かるように声に出して読んでいる。	△			

A話すこと・聞くこと	e言語についての知識・理解・技能	AeE34-1 その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話している。	△	AeE12-1 姿勢、口形などに注意して、はっきりした発音で話している。	○	・話すこと聞くことに関する領域では、当該学年の言語についての技能等は、特に状況に応じた適切な言語で話すことや、文と文のつながりを意識して聞く際の言語への注意が不十分であるように思える。
A話すこと・聞くこと	e言語についての知識・理解・技能	AeE34-2 話したり聞いたりするために必要な語句を増している。	○	AeE12-2 丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気を付けて話している。	○	
A話すこと・聞くこと	e言語についての知識・理解・技能	AeE34-3 修飾と被修飾との関係など、文の構成に気を付けて話を聞いている。	×	AeE12-3 文の中における主語と述語との関係に注意して話したり聞いたりしている。	○	
A話すこと・聞くこと	e言語についての知識・理解・技能	AeE34-4 文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使って話したり、それらに注意して聞いたりしている。	△			
A話すこと・聞くこと	e言語についての知識・理解・技能	AeE34-5 相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話している。	×			
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-1 当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書いている。	○	BeE12-1 平仮名を正しく書いたり、片仮名で書く語を文や文章の中で正しく使ったりしている。	○	・書くことに関する領域での言語の知識や技能等は、1～2学年の学習に関しては習得されていると思われる。しかし、当該学年では、段落の意味を理解し適切な改行の記述が習得されていないようである。
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-2 漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもっている。	○	BeE12-2 第1学年に配当されている漢字を漸次書いている。(第1学年)	○	
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-3 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いている。(4年)	○	BeE12-3 第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書いている。	○	
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-4 送り仮名に注意して書いている。・句読点を適切に打ち、必要な箇所は行を改めて書いている。	△	BeE12-4 長音、拗音、促音、撥音の表記ができ、助詞の「は」「へ」「を」を文の中で正しく使っている。	○	
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-5 表現するために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解している。	○	BeE12-5 句読点の打ち方やかぎ(「」)の使い方を理解して文章の中で使っている。	○	
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-6 文章全体における段落の役割を理解している。	×	BeE12-6 文の中における主語と述語との関係に注意して書いている。	○	
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-7 文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使っている。	○	BeE12-7 姿勢や用具の持ち方正して丁寧に書いている。	○	
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-8 文章の敬体と常体に注意して書いている。	○	BeE12-8 点画の長短、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書いている。	○	
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-9 文字の組立て方に注意して、文字の形を整えて書いている。	○			
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-10 文字の大きさや配列に注意して書いている。	×			
B書くこと	e言語についての知識・理解・技能	BeE34-11 毛筆を使用して、点画の筆使いや文字の組立て方に注意しながら、文字の形を整えて書いている。	○			
C読むこと	e言語についての知識・理解・技能	CeE34-1 当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。	○	CeE12-1 はっきりした発音で読んでいる。	○	・読むことに関する領域の言語の知識や技能等では、当該学年・下学年ともに十分習得されていると思われる。
C読むこと	e言語についての知識・理解・技能	CeE34-2 地名や人名などの固有名詞を含めた日常目にする程度の簡単なローマ字を読んでいる。(4年)	○	CeE12-2 平仮名及び片仮名を正しく読んでいる。	○	
C読むこと	e言語についての知識・理解・技能	CeE34-3 語句が性質や役割の上で類別があることを理解している。	○	CeE12-3 当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。	○	
C読むこと	e言語についての知識・理解・技能	CeE34-4 国語辞典や漢字辞典の使い方を知り、必要に応じて活用している。	○	CeE12-4 文の中における主語と述語との関係を理解している。	○	
C読むこと	e言語についての知識・理解・技能	CeE34-5 文相互の関係や段落相互の関係を示す手がかりとしての指示語・接続語の役割を理解している。	○	CeE12-5 言葉の違いに気を付けて読むとともに、敬体で書かれた文章などの文体を意識している。	○	

図2及び図3からも明らかなように、対象児童は知的発達が標準であるにもかかわらず、当該学年の評価規準は十分に習得されていない状況だった。詳細を見ると、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の内容のまとまりにおいて、「言語についての知識・理解・技能」に関して下学年は習得され、当該学年もおおむね習得されていたことが分かる。しかし、「関心・意欲・態度」に関しては、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の内容のまとまりにおいて、当該学年の学習は習得されていない状況であり、同様に、各能力についても習得が十分でないことが明らかになった。

### 3. 国語科学習評価シートの結果を指導計画等に生かす

前述した対象児童の例で、次年度の学習内容等の編成へ学習評価結果をどう反映させ、どのように活用していくのか図4で概要を示し、表1～3で詳細に説明する。

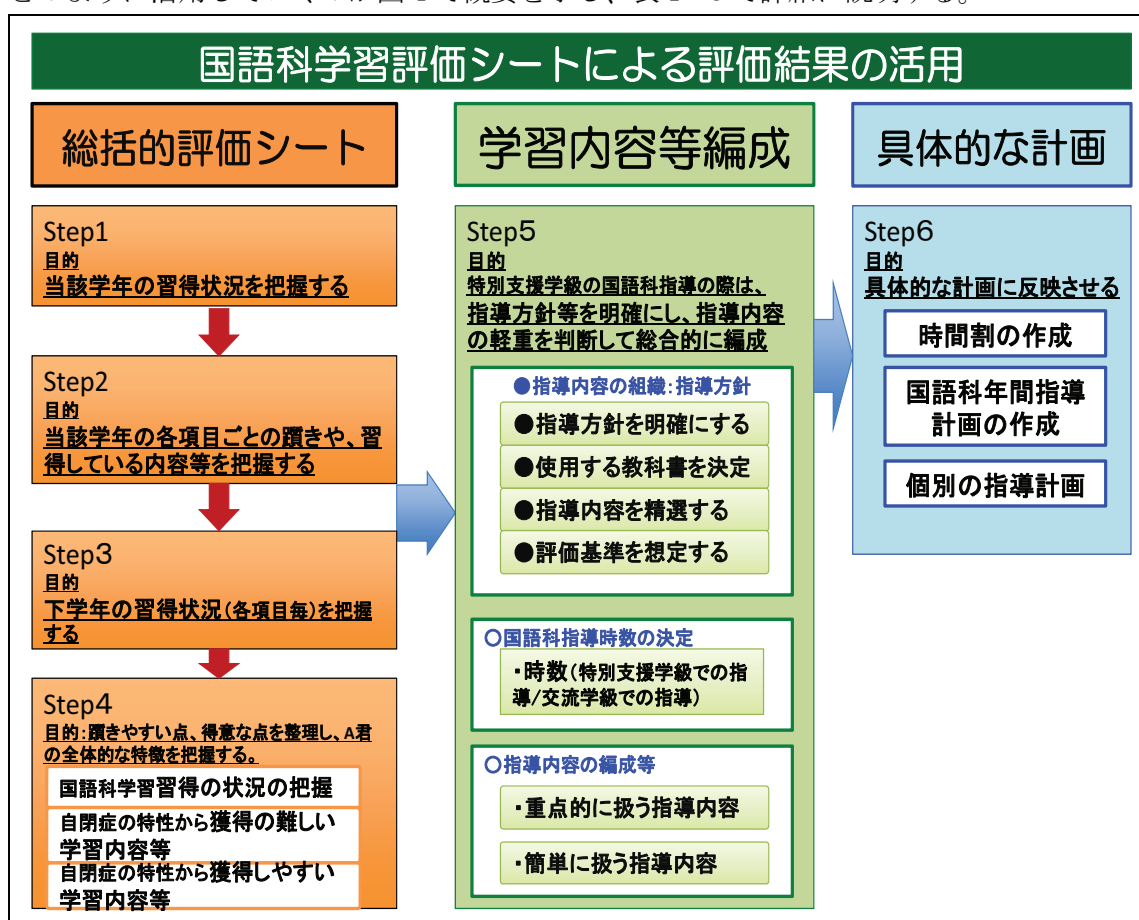


図4 国語科学習評価シートによる評価結果の活用

まず担当教員は、次年度における国語科指導の内容等を編成するため、図5のフォーマットを利用して指導の枠組みを決定していく(ステップ5)。なお、図5及び図6のフォーマットは、本研究チームで作成し活用してもらったものである。

国語科指導の内容等の編成については、具体的に①国語科指導時間数、②教科書、③各単元のねらい、④主な指導の場、⑤指導形態、⑥評価、⑦年間指導計画の視点であり、担当教員は一つひとつ反映させるべき内容を確認し、その理由を記述する。

観点	反映事項	理由
①国語科の総時数について	大幅に増やした	児童が習得しやすい単元と、そうでない単元を想定して時数を増減したため、総時数を変えずに実施できた。
	やや増やした	
	〇 変えていない	
	やや減らした	
	大幅に減らした	
②国語科の教科書について	〇 主に当該学年の教科書を使用することにした	当該学年の学習内容を習得することが可能だと想定した。
	当該学年の教科書を中心に、下学年教科書の一部を使用することにした	
	主に下学年の教科書を使用することにした	
	副教材(自作プリント等)を中心に、下学年の教科書の一部を使用することにした	
	その他	
③各単元のねらいについて	各単元等のねらいは、当該学年のねらいのまま実施することにした	通常の学級では、物語文教材の単元で1時間に複数のねらいで学習する必要があるが、対象児童の場合は、1時間に学習するねらいを1つ程度にした。 逆に、言語事項の学習では、「形容詞、接続詞などの名称を知り、…」のように、通常の学級より目標を高く設定した場合があった。
	〇 単元によっては、当該学年のねらいの一部を変えることにした	
	各単元等のねらいは、下学年のねらいのまま実施することにした	
	単元によっては、下学年のねらいの一部を変えることにした	
	その他	
④指導の場と主な指導者について	全ての時間を特別支援学級で実施することにした	新聞作りや話し合い、スピーチ等の学習では、特別支援学級で個別に学習したものを通常の学級で発表するように、指導の場を学習内容に応じて変えた。
	全ての時間を通常の学級担任に任せて指導することにした	
	〇 特別支援学級と通常の学級の両方の場で、両担任がそれぞれ指導することにした	
	特別支援学級と通常の学級の両方の場で、特別支援学級担任が指導することにした	
	その他	
⑤自閉症・情緒障害特別支援学級における指導形態等について	主に個別指導で実施することにした	学年、習得状況、習得方法等が似ている児童同士で小集団指導を実施した。学習において、友達の考えを参考にすることができるので、個別指導より効果的であった。
	〇 主に小集団指導で実施することにした	
	その他	
⑥評価について	〇 当該学年の評価基準をそのまま使い、評価することにした	対象児童の学習目標を評価するのには、当該学年の評価基準が適当であると想定した。
	下学年の評価基準をそのまま使い、評価することにした	
	当該及び下学年の評価基準を一部活用して、評価(到達度評価)することにした	
	その他	
	〇	
⑦年間の指導計画について	使用する当該学年・下学年の教科書通り、特に変更せず年間計画を作成した	習得しやすいと想定した説明文教材は時数を少なくし、習得が困難であると想定した物語文教材は時数を増やして指導することが必要であった。 作文教材は、行事に合わせて単元の順序を変え、学習に取り組みやすくした。
	〇 使用する当該学年・下学年の単元の順序を変えるなどして、年間計画を作成した	
	当該学年と下学年の単元を混在して、年間計画を作成した	
	新出漢字は当該学年の内容を年間計画に位置付けた	
	その他	

図5 国語科学習評価シートの活用及び指導計画等への反映(枠組み)のフォーマット

前述の担当教員は、対象児童について国語科学習の習得状況を踏まえ、平成23年度の国語科指導において、①国語科の授業時数は通常の学級と同様とすること、②当該学年の教科書を用いること、③各単元のねらいを一部変更すること、④主な指導の場は特別支援学級とし、単元によっては一部、交流学級でも指導すること、⑤指導形態は小集団指導とすること、⑥評価は当該学年の評価基準をそのまま使用すること、⑦各単元の指導内容の順序を入れ替える、などと想定しながら特別支援学級における国語科指導の枠組みを考えた。

さらに担当教員は、図6の指導内容への反映についても、①指導内容の重点化・簡素化について、②内容のまとまりの重点化・簡素化について、③題材等について、④その他とした視点から、国語科の指導内容を想定しその理由を記述している。



観点	反映事項	理由
①当該学年あるいは 下学年の内容の 重点化・簡便化	・当該学年の内容をそのまま取り扱うことにした	物語文教材の読み取りにおいて、登場人物の 気持ちや場面の様子を読み取ることが苦手な ので、言語指導を丁寧に行う必要があると想定し た。 また、漢字は当該学年の漢字をほとんど習得し ているので、授業の中では取り扱わないこととし た。 さらに、説明文教材は、理解が容易であると想 定し、簡単に扱うことにした。
	○ 当該学年の内容で、指導を重点的に実施しようとする内容を想定した	
	○ 当該学年の内容によっては、最初から取り扱わないとした内容もあった	
	○ 当該学年の内容で、指導を簡単に扱おうとする内容を想定した	
	・下学年の内容をそのまま取り扱うことにした	
	・下学年の内容で、指導を重点的に実施しようとする内容を想定した	
	・下学年の内容によっては、最初から取り扱わないとした内容もあった	
②各内容のまとまり の重点化・簡便化	・話す・聞く力の向上を目指して、主たる指導内容を想定した	対象児童は、心情理解、情景理解等が苦手な である。しかし、動作化や視覚教材の導入等の配慮 で理解することが可能であると想定し、内容理解 の力をつけることを目指して指導内容の中心とし た。
	・書く力の向上を目指して、主たる指導の内容を想定した	
	○ 読む力の向上を目指して、主たる指導の内容を想定した	
	・新出漢字等の言語事項について主たる指導内容を想定した	
③題材・内容選択に ついて	・対象児童生徒が興味関心を示しそうな内容の単元を想定した	対象児童の習得状況から、当該学年の物語文 教材で学習することが可能であると想定した。
	・当該学年又は下学年の説明文教材を、主たる指導内容と想定した	
	○ 当該学年又は下学年の物語文教材を、主たる指導内容と想定した	
	・新出漢字等を主たる指導内容と想定した	
④その他	・国語科で学習した内容について、自立活動で補習した	インタビューの仕方、説明の仕方、話し合いの司 会の仕方等、コミュニケーションに係わる内容につ いては、自立活動の時間に補習し、定着を図っ
	・	
	・	

図 6 国語科学習評価シートの活用及び指導計画等への反映(内容)のフォーマット

図 6 の記述内容をみていくと、担当教員は当該学年の内容で指導することを前提とし、指導内容の重点化及び簡素化に関しては、対象児童は機械的な記憶力に優れ、当該学年の漢字は既に習得していることから、漢字の指導は授業では取り扱わないこととした。さらに、対象児童は説明文の理解が容易であると推測できたことから、一年間に指導する内容に軽重をつけ編成しようとしていることが読み取れる。

また、内容のまとまりの重点化・簡素化では、「読むこと」に関する指導の重点化を図り、さらに題材や学習内容においては文学教材を中心に、心情理解や情景描写について、動作化や視覚教材を導入して能力を養うことを計画している。

そして図 7 は、図 5、6 で想定したことを踏まえ、前述の担当教員が作成した国語科年間指導計画である。

単元・教材名で(文学)とあるのは文学教材のことである。授業時数は、通常の学級が正規に実施する国語科の単元取扱時数である。増減としてマイナスの記号がついている数字は、通常の学級で取り扱う時数から減らしていることを意味し、記号がない数字は増加を意味している。増減については、簡単な理由も記述されている。また、自閉症・情緒障害特別支援学級が主たる指導の場であるが、単元の指導内容によっては、通常の学級に交流及び共同学習として部分的に参加することを想定し計画を立てている。

月	単元・教材	時数	増減	実際	増減の理由	学習場所
4	こわれた千の楽器(文学)	5	+2	7	情景理解が困難	特支
	図書館へ行こう	1	-1	0	熟知しているため	
	心の動きを文章に書こう	4		4		特支
	漢字の読み方に気をつけよう	3	-2	1	ほぼ習得している	特支
5	ヤドカリとイソギンチャク(説明文)	8		8		特支
	案内係になろう	3	+2	5	反復練習が必要	特支
	わたしが選んだ今月のニュース	4		4		特支・通常
	漢字辞典の使い方を知ろう	3	-1	2	習得が容易	特支
6	走れ(文学)	9	+2	11	心情理解が困難	特支
	メモの取り方をくふうして聞こう	3	+1	4	反復練習が必要	特支
	広告と説明書を読みくらべよう(説明文)	8	-2	6	習得が容易	特支
	わたしの考えたこと	8		8		特支・通常
7	「ことわざブックを作ろう」	6	-2	4	諺を知っているため	特支
	本は友達	2		2		特支
9	詩を読もう	2		2		特支
	「今の自分」を話します	6		6		特支・通常
	お願いやお礼の手紙を書こう	4		4		特支
	文末の言い方に目を向けよう	3		3		特支
10	ごんぎつね(文学)	11	+3	14	情景理解が困難	特支
	連詩にちょうせんしよう	8		8		特支
	文の組み立てを考えよう	3		3		特支
11	くらしの中の和と洋(説明文)	11	-2	9	習得が容易	特支
	みんなで話し合っ	6		6		通常
	みんなで新聞を作ろう	12		12		通常
12	文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう	3		3		特支
	世界一美しいぼくの村(文学)	11	+3	14	心情理解が困難	特支
1	「百人一首」を声に出して読んでみよう	3	+1	4	関心が高いため	通常
	目的に合わせて書こう	5		5		特支
2	報告します、みんなの生活	12		12		通常
	同じ読み方の漢字に気をつけよう	3	-2	1	ほぼ習得している	特支
	「ゆめロボット」を作る(説明文)	11		11		特支
	「十さいのわたし」文集を作ろう	7		7		特支・通常
3	漢字を使って読みやすい文を書こう	3	-2	1	ほぼ習得している	特支
	木竜うるし(人形げき)	10		10		特支・通常
					通常と同じ時数	
					通常より増	
					通常より減	

図7 実践事例4 国語科年間指導計画